

経営比較分析表（令和2年度決算）

京都府福知山市 福知山市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	ド透1未訓ガ	救急が感へ災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
77,061	32,284	-	第2種該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

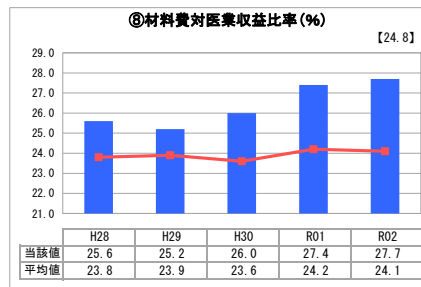
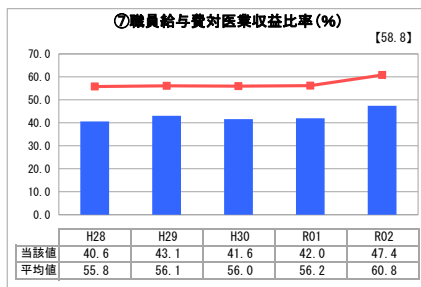
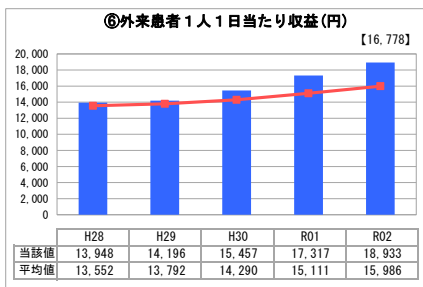
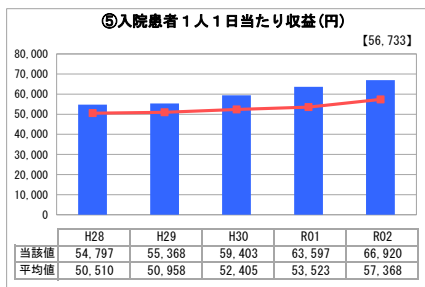
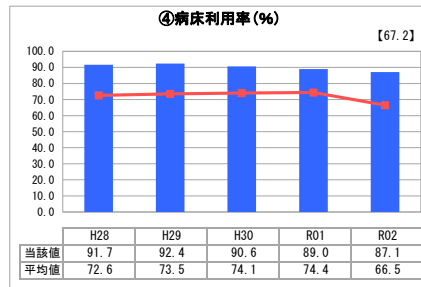
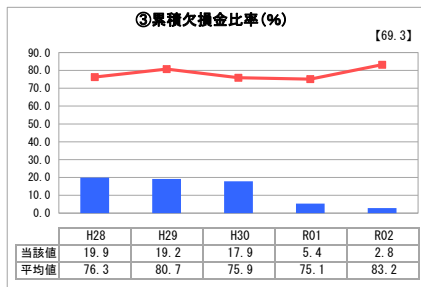
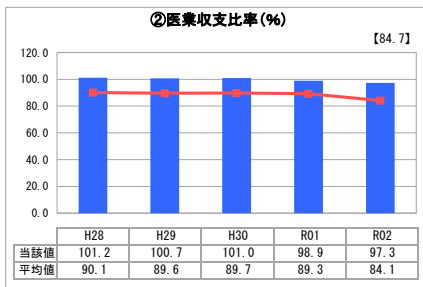
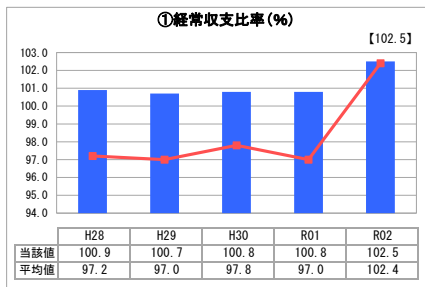
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
344	-	6
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	354
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
344	-	344

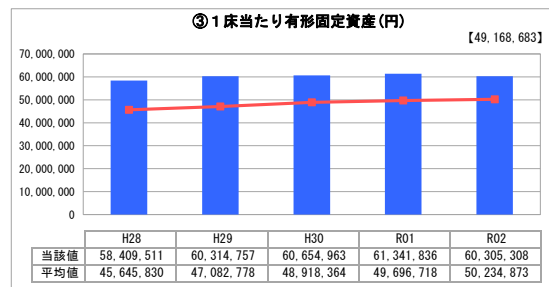
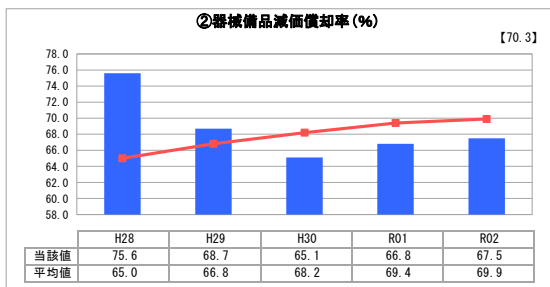
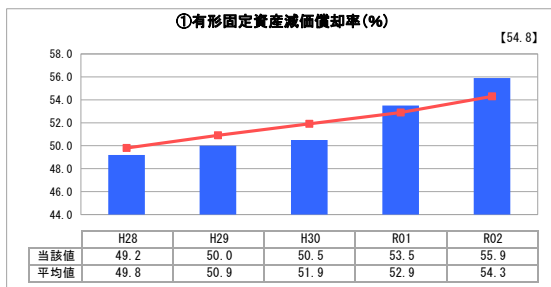
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、第2種感染症指定医療機関、災害拠点病院、周産期医療病院、中丹地域リハビリテーション支援センターに指定されるなど、京都府北部の医療拠点として高度・専門的な医療の提供とともに、医師、看護師等の医療人材の養成施設としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支は100%を上回っており経営状況は概ね良好である。年度前半は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により患者数が減少し診療収入が落ち込んだものの、後半には回復し、コロナ病床確保による補助金等を受けたこともあり経常収支比率は前年を上回った。

病床利用率は、年度前半の患者数の減少とコロナ病床確保の影響により前年度を下回った。診療単価については、コロナ禍により患者総数が減少するなか、がん治療などの高額薬品の投薬治療の割合が増えたことなどにより前年度を上回った。

2. 老朽化の状況について

平成18年の病院全面改築から14年を経過し、改築に伴い整備した大型医療機器等の更新を順次進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策として設備や医療機器を増設するなど医療機能の強化にも努めている。

平成29年度の電子カルテの更新をはじめとして、高額医療機器等の更新を順次進めており、平成30年度以降における器械備品の減価償却率は平均より下回っている。

地域の中核病院としての医療ニーズに応えるため、放射線治療機器などの大型で高額な機器や施設を整備しているため1床当たりの有形固定資産額は多くなっている。

全体総括

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により年度前半の医業収入が落ち込んだが、コロナ関連補助金収入を含めた経常収支は黒字となり、累積欠損金も減少した。

なお、全面改築から14年を経過し、施設・設備の経年劣化による維持管理や更新、大型医療機器の更新等に多くの費用を要することが考えられるため、今後の人口動態、疾病構造、医療政策などを的確に把握し計画的で合理的、効率的な事業運営をしていく必要がある。